

00

Chapter1

ユーザ機能
の紹介

Chapter2

プログラム
生成機能

Chapter3

データ保存と
読み込み

Chapter4

キャビネット移動

Chapter5

キャビネット閲覧
と取り出し

ユーザマニュアル

Ver. 1.0

■ユーザ機能でできること

ユーザ機能では下記のようなことができます。

・プログラム生成機能

画面要素を元に「登録」「編集」「削除」「一覧」「詳細」の各機能を有するプログラムを生成できます。

・データ保存機能

作成途中、または作成したプロジェクトをワークスペース上に保存することができます。

・データ読み込み機能

保存したデータを読み込み、保存時の状態を復元することができます。

・キャビネット管理機能

ワークスペース上のデータをキャビネットに保存したり、キャビネットからワークスペースにデータを取り出すことができます。



機能生成項目設定画面

キャビネット一覧画面



■ 共通操作部分

まず最初に、各画面に共通の機能を紹介します。



共通部分

①「CodeSaber」ロゴ

CodeSaberのロゴです。クリックするとユーザー一覧画面へ移動できます。

②ログインユーザの情報

現在ログイン中のユーザの会社名と名前が表示されます。

③「ログアウト」

クリックするとログアウトできます。

④「保存データを開く」

クリックすると保存してある設定情報一覧をポップアップウィンドウに表示します。

⑤「現在の状態を保存する」

クリックすると現在の設定状況を保存するための画面がポップアップウィンドウで表示されます。

⑥「最初から作り直す」

クリックすると現在の設定情報をすべてクリアします。

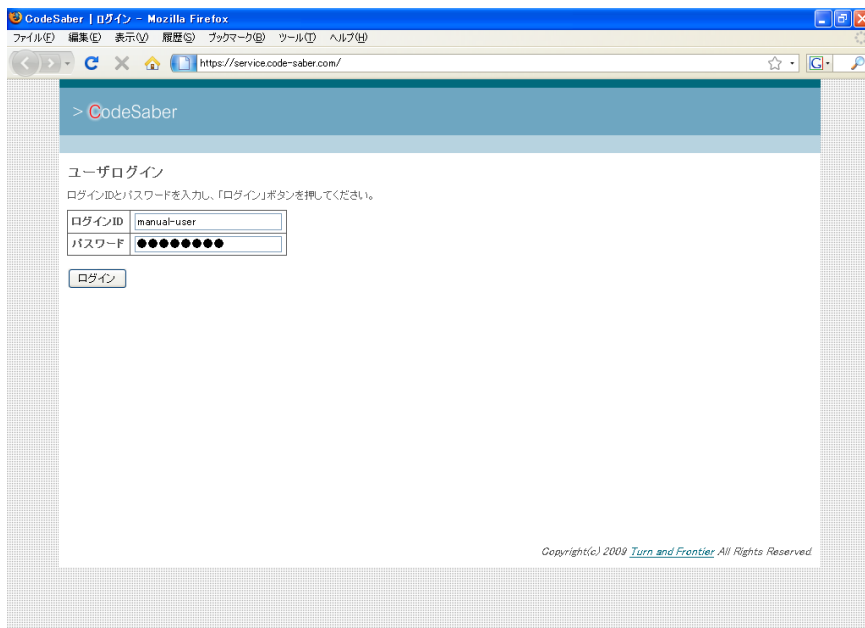
⑦「キャビネットを見る」

クリックするとキャビネットを閲覧できます。

■ログイン

ユーザ機能を利用するには、まずログインする必要があります。

ユーザログイン画面「<http://service.code-saber.com/>」へアクセスしてください。



ログイン画面

ログイン認証に成功すると、基本情報設定画面が表示されます。

管理者から通知されたログインIDと
パスワードを入力し、「ログイン」ボタンを
クリックしてください。

■機能生成－基本情報設定

機能生成では、入力した設定条件のプログラムを自動生成することができます。

まずは、基本情報の設定です。下記の手順で設定してください。

- ①CodeSaberロゴや「最初から作り直す」をクリックして、機能生成 基本情報設定画面にアクセスする。
- ②「システムタイプ」を選択する。
 - 「通常型」・・・Zend Frameworkの標準的なディレクトリ構成でプログラムを生成します。
 - 「モジュール型」・・・階層をひとつ増やしたディレクトリ構成です。大規模システムの場合はこちらを選択すると便利です。
- ③「プログラムID」を入力する。
 - 「プログラムID」・・・コントローラ名にあたる名前です（「モジュール型」の場合はモジュール名になります）。
- ④「多言語対応」を選択する。「使用する」を選択すると、多言語に対応可能なシステムが生成されます。
- ⑤「生成する機能」を選択する。複数選択が可能です。
- ⑥「項目内容の設定へ進む」ボタンをクリックして、機能生成 項目内容設定画面へ移動します。



基本情報設定画面

※「やり直し」ボタンを押すと、入力値がリセットされます。

■機能生成－項目内容設定

次に、下記の手順で項目内容の設定を行ってください。
 グレーになっている項目は入力の必要がないため入力できないようになっています。
 また、「基本情報の設定へ戻る」ボタンをクリックすると、機能生成 基本情報設定画面へ戻ることができます。

多言語	キャプション	項目名	フォームタイプ	データ規則	追加文字	必須	重複NG	最小	最大	操作
<input type="checkbox"/>	ログインID	loginId	1行テキスト	半角英数字	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	20	この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	パスワード	password	パスワード	半角英数字		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	20	この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	性別	sex	ラジオボタン 項目を設定する	数値		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	1	この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	生年月日	birthday	1行テキスト	日付		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	郵便番号	zipCode	1行テキスト	郵便番号		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	都道府県	prefId	セレクトボックス 項目を設定する	数値		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	48	この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	住所	address	1行テキスト	文字列		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		100	この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	電話番号	tel	1行テキスト	電話番号		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	メールアドレス	email	1行テキスト	メールアドレス		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		200	この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	メールマガジン配信	magazine	チェックボックス 項目を設定する	数値		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1	この行を削除 この上へ追加
<input type="checkbox"/>	一言コメント	comment	複数行テキスト	文字列		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	400	この行を削除 この上へ追加

項目内容設定画面

①多言語対応したい項目の場合は「多言語」を選択します。

※前画面で多言語対応を「使用しない」を選択した場合はチェックボックスが表示されません。

②「キャプション」を入力します。「キャプション」は、生成されるプログラムで表示名として使われます。

③「項目名」を入力します。「項目名」は生成されるプログラムでname属性の値やデータベースのカラム名として使われます。

④「フォームタイプ」を選択します。

「フォームタイプ」が「セレクトボックス」、「チェックボックス」、「ラジオボタン」のいずれかの場合は、
 「項目を設定する」が表示されますので、クリックしてオプション項目を設定してください（次ページ参照）。

⑤「データ規則」を選択します。生成されるプログラムでは、「データ規則」に従って入力チェック処理が行われます。

- ⑥「データ規則」で選択したものの他に、入力を許可したい文字がある場合は「追加文字」にその文字を入力します。
これは例えば半角英数字に加えてハイフンとアンダースコアを許可したい、といった要望を実現できます。
- ⑦入力必須項目の場合は「必須」を選択します。
- ⑧他のデータと重複してはいけないもの場合は「重複NG」を選択します。
- ⑨「最小」に最小文字数（「データ規則」が「数値」の場合は最小値）を入力します。
- ⑩「最大」に最大文字数（「データ規則」が「数値」の場合は最大値）を入力します。
- ⑪項目を追加する場合は、「この上に追加」ボタンをクリックするか、「項目を追加する」をクリックします。
- ⑫項目を削除する場合は、「この行を削除」ボタンをクリックします。
- ⑬「入力内容の確認へ進む」ボタンをクリックして、機能生成 入力内容確認画面へ移動します。

●フォームタイプ選択時の特殊動作

フォームタイプ	動作
パスワード	入力確認のため、入力ボックスが2つ表示される。 確認画面では入力された文字の代わりに「*」で表示する。

●データ規則選択時の特殊動作

データ規則	動作
メールアドレス	入力確認のため、入力ボックスが2つ表示される。 メールアドレスの書式として正しいかがチェックされる。
URL	URLの書式として正しいかがチェックされる。
郵便番号	前3桁と後ろ4桁に入力ボックスが分かれて表示される。 郵便番号の書式として正しいかがチェックされる。
電話番号	入力ボックスが3つに分かれて表示される。 電話番号の書式として正しいかがチェックされる。
日付	入力ボックスが年月日の3つに分かれて表示される。 日付として正しいかがチェックされる。
画像認証	チューリングテストのためのCaptcha画像が表示され、 入力文字列が一致するかがチェックされる。

■機能生成－項目内容設定－オプション項目設定

項目内容設定画面で「フォームタイプ」に「セレクトボックス」、「チェックボックス」、「ラジオボタン」のいずれかを選択した場合、オプション項目（選択肢情報）の設定が可能になります。下記の手順で設定してください。

- ① 予め選択された状態にする場合は「デフォルト」を選択してください。
- ② 「ラベル」を入力する。「ラベル」は選択肢の表示名として使われます。
- ③ 「値」を入力する。「値」は選択肢のvalue属性の値として使われます。
- ④ 項目を追加する場合は、「追加する」をクリックします（「チェックボックス」の場合を除く）。
- ⑤ 項目を削除する場合は、「削除」ボタンをクリックします（「チェックボックス」の場合を除く）。
- ⑥ 「適用する」ボタンをクリックして、オプション項目の設定を完了させます。

デフォルト	ラベル	値	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	選択してください		削除
<input type="checkbox"/>	北海道	1	削除
<input type="checkbox"/>	香森県	2	削除

~~~~~ (中略) ~~~~~

|                          |      |    |    |
|--------------------------|------|----|----|
| <input type="checkbox"/> | 鹿児島県 | 46 | 削除 |
| <input type="checkbox"/> | 沖縄県  | 47 | 削除 |

追加する

閉じる 適用する

オプション項目設定画面  
（「セレクトボックス」の例）

| デフォルト                               | ラベル     | 値 |
|-------------------------------------|---------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 配信を希望する | 1 |

閉じる 適用する

オプション項目設定画面  
（「チェックボックス」の例）

| デフォルト                            | ラベル | 値 | 操作 |
|----------------------------------|-----|---|----|
| <input checked="" type="radio"/> | 男性  | 0 | 削除 |
| <input type="radio"/>            | 女性  | 1 | 削除 |

追加する

閉じる 適用する

オプション項目設定画面  
（「ラジオボタン」の例）

「閉じる」ボタンを押すと、オプション項目設定画面が閉じます。

## ■機能生成－入力内容確認

基本情報設定画面と項目内容設定画面で入力した内容を確認する画面です。

入力内容を訂正する場合は、「項目内容の入力に戻る」ボタンをクリックして項目内容設定画面へ戻ってください。

入力した設定条件で確定する場合は、「この内容で生成する」ボタンをクリックして機能生成を実行してください。

機能生成

基本情報設定 > 項目内容設定 > 設定確認 > 生成完了

下記の内容で生成します。  
よろしければ「この内容で生成する」ボタンを押してください。  
もし一度戻って編集する場合は「項目内容の入力に戻る」ボタンを押してください。

基本情報

|         |                |
|---------|----------------|
| システムタイプ | 通常型            |
| プログラムID | User           |
| 多言語対応   | 使用する           |
| 生成する機能  | 登録、編集、削除、一覧・詳細 |

項目内容

| 多言語 | キャプション     | 項目名      | フォームタイプ  | データ規則   | 追加文字 | 必須                    | 重複NG                  | 最小 | 最大  |
|-----|------------|----------|----------|---------|------|-----------------------|-----------------------|----|-----|
|     | ログインID     | loginId  | 1行テキスト   | 半角英数字   | -    | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | 4  | 20  |
|     | パスワード      | password | パスワード    | 半角英数字   |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | 4  | 20  |
|     | 性別         | sex      | ラジオボタン   | 数値      |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | 0  | 1   |
|     | 生年月日       | birthday | 1行テキスト   | 日付      |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |    |     |
|     | 郵便番号       | zipCode  | 1行テキスト   | 郵便番号    |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |    |     |
|     | 都道府県       | prefId   | セレクトボックス | 数値      |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | 1  | 48  |
|     | 住所         | address  | 1行テキスト   | 文字列     |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |    | 100 |
|     | 電話番号       | tel      | 1行テキスト   | 電話番号    |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |    |     |
|     | メールアドレス    | email    | 1行テキスト   | メールアドレス |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |    | 200 |
|     | メルマガジン配信希望 | magazine | チェックボックス | 数値      |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | 1  | 1   |
|     | 一言コメント     | comment  | 複数行テキスト  | 文字列     |      | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | 1  | 400 |

項目内容の入力に戻る    この内容で生成する

Copyright(c) 2009 Turn and Frontier All Rights Reserved

入力内容確認画面

「フォームタイプ」に「セレクトボックス」、「チェックボックス」、「ラジオボタン」のいずれかを選択した場合は、「項目を表示する」というリンクが表示されますので、クリックしてオプション項目の入力内容も確認してください。

都道府県のオプション項目

| デフォルト                 | ラベル      | 値  |
|-----------------------|----------|----|
| <input type="radio"/> | 選択してください |    |
|                       | 北海道      | 1  |
|                       | 青森県      | 2  |
| (中略)                  |          |    |
|                       | 鹿児島県     | 46 |
|                       | 沖縄県      | 47 |

開じる

オプション項目  
入力内容確認画面

## ■機能生成一完了

機能生成が完了しました。

「ダウンロード」をクリックして、生成されたプログラムをダウンロードしてください。

また、今回の設定を保存しておきたい場合は、

「現在の状態を保存する」をクリックして保存データ一覧に保存しておきましょう(次ページ参照)。



完了画面

必要に応じてZend Framework本体もダウンロードしてください。

生成されたプログラムの設置方法については「設置マニュアル」を参照してください。

## ■データ保存と読み込み

機能生成で入力した設定は保存したり、読み込んで復元したりすることができます。

### ●データ保存

- ①「現在の状態を保存する」をクリックして、データ保存入力画面を開きます。

データ保存入力画面

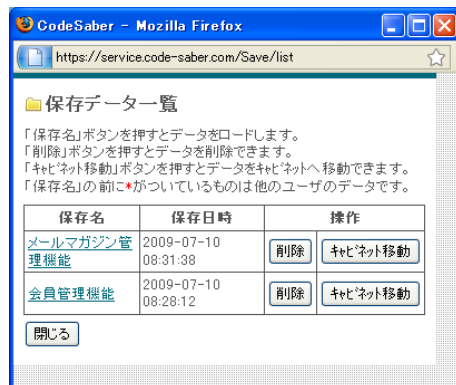
- ②「保存名」を入力します。日本語の名前も利用できますので、なるべく分かりやすい名前で保存しましょう。
- ③「上書き」を選択します。ワークスペース上に同じ名前のデータを保存することはできません。違う名前で保存するか上書きするかを選択してください。
- ④「保存する」ボタンをクリックすると設定が保存され、データ保存完了画面が表示されます。

データ保存完了画面

「閉じる」ボタンをクリックすると、画面が閉じます。

## ●データ読み込み

保存データ一覧では、以前に保存したデータを確認することができます。  
「保存データを開く」をクリックして、保存データ一覧画面を開いてください。



保存データ一覧画面

「保存名」をクリックすると、データを開くことができます。

「保存日時」はデータの最終更新日です。

「削除」ボタンをクリックすると、データを削除できます。

「キャビネット移動」ボタンをクリックすると、データをキャビネットに移動できます(次ページ参照)。

「閉じる」ボタンをクリックすると、画面が閉じます。

## ■キャビネット移動

ワークスペースに保存できるデータの数には上限があります。

「使用しなくなったけど置いておきたい」データがあれば、キャビネットに移動することでワークスペースを空けることができます。

下記の手順でデータをキャビネットに移動できます。

- ①「保存データを開く」をクリックして、保存データ一覧画面を開きます。
- ②移動したいデータの横にある「キャビネット移動」ボタンをクリックし、キャビネット移動入力画面を開きます。

キャビネット移動入力画面

- ③「データ概要」を入力します。キャビネットは他のユーザも共同で利用するスペースのため、なるべく分かりやすく説明を書き添えておくとよいでしょう。
- ④「許可設定」を選択します。  
「他のユーザも可」を選択すると、他のユーザからもデータの閲覧が可能になります。  
逆に「自分のみ可」を選択した場合は、他のユーザはこのデータの取り出しができなくなります。
- ⑤「キャビネットへ移動する」ボタンをクリックするとデータが移動し、キャビネット移動完了画面が表示されます。

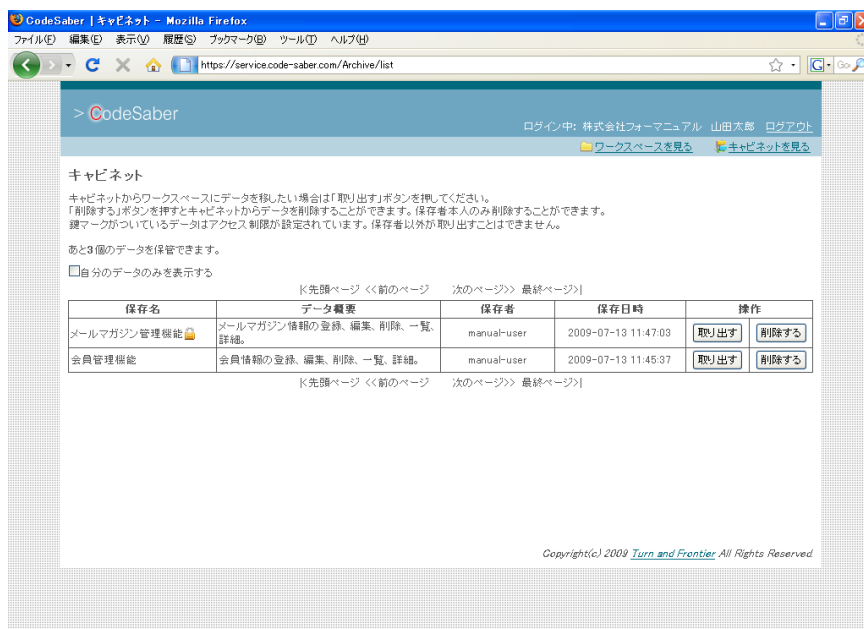
キャビネット移動完了画面

「一覧へ戻る」ボタンをクリックすると、保存データ一覧画面へ戻ります。  
「閉じる」ボタンをクリックすると、画面が閉じます。

## ■キャビネット閲覧

キャビネットの中に保管されているデータを確認できます。

鍵マークがついているデータはアクセス制限が設定されています。保存者以外が取り出すことはできません。



キャビネット画面

「取り出す」ボタンを押すと、データが保存データ一覧に移動します。

「削除する」ボタンを押すと、データが削除されます。

自分が保存したデータのみを閲覧したい場合は、「自分のデータのみを表示する」を選択してください。

「ワークスペースを見る」をクリックすると、保存データ一覧画面が表示されます。

「キャビネットを見る」をクリックすると、キャビネット画面が更新されます。

※他のユーザが作成したデータは削除できません。

※他のユーザが作成した鍵つきのデータは取り出すことができません。